

# 地元抱える課題理解

## 近隣市町職員と意見交換

生徒たちのできる地めた。

域貢献を探ろうと、瀬戸高生 生徒の主体性や課題での医療費無料化をもつと宣伝すべきだ。若戸町光明谷)は8日、狙いに初めて企画。生者には会員制交流サイト(SNS)が有効」岡山、備前、瀬戸内、赤警市、和気町の職員らとの意見交換会を同校で開き、1年生約150人が地元が抱える課題について理解を深

て発表した。人口減少を指摘した赤警市のグループは、移住者を増やすために「中学生までの空き家の活用事例は」「市内で最も人気の観光地はどこか」など質問した。

目崎智大さん(16)は「課題解決のために隠れた魅力をPRする方法を考えていきたいと思った」。赤警市まち

の遠藤健一課長は「地元を見つめ直してもらう良い機会。実践に期待したい」と話していた。

今後もグループごとに協議を重ね、夏休みにも具体的な活動を始める予定。(水嶺佑香)



赤警市職員らと地元の抱える課題について意見交換する生徒たち

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。